研究テーマ 電磁浮遊の活用事例

所属 学術研究部工学系

教授 大路 貴久
https://researchmap.jp/read0109073

研究分野	電気機器，電磁力応用，工芸デザイン
キーワード	磁気浮上，芸術文化，異分野融合

研究室URL： http://kiki.eng.u-toyama.ac.jp/

研究の背景および目的

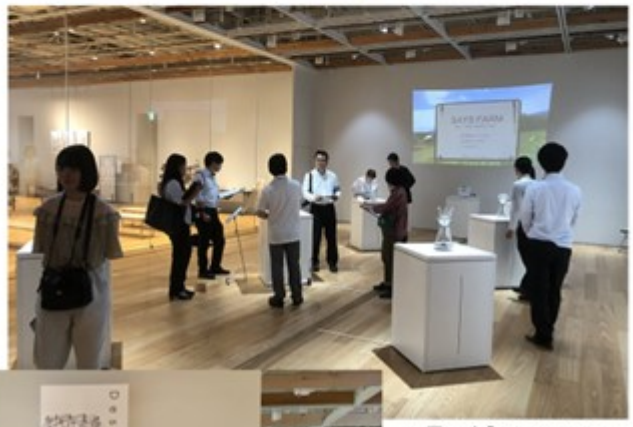
非接触で物体が宙に浮く磁気浮上はとても不思議です。この不思議さを工芸やクラフトの世界と融合して全く新しい価値を創造することを目的とした芸文×工学」プロジェクトを実施しました。2018年に富山市ガラス美術館で開催された展示会「CARAFAGE」では、芸術文化学部内田研究室、工学部エネルギー変換工学研究室、工学部機械工場、富山ガラス工房でタッグを組み、アイデアと技術を集結したガラス作品を6台展示しました。来場者数は3日間でのべ1,700人を超えました。



■主な研究内容



↑ 電磁浮遊を活用したカラフェ（ワインデキャンタ）



↑ 展示会「CARAFAGE」の様子



← 「芸文×工学」プロジェクト関係の皆様

期待される効果・応用分野

産学連携には、同業種間でコアな部分を突き詰める研究連携（共同研究）もありますが、異分野・異業種で意見を出し合い、協働する中から全く新しい発想や価値が生み出されることも多々あります。学術研究と考えると敷居が高くなるのですが、そういう部分とは別の，商品や作品としての価値を先行させたものづくり連携も推進しています。

■共同研究・特許など

企業からのニーズを共有し、我々の有する知識、技術、経験を活用することで、異分野融合による新しい価値の創造を目指します。学術的意義の有無にかかわらずご相談ください。

◆ 電磁応用技術に関するアドバイス
◆ 電磁界解析，フィジビリティ評価

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/takahisa-ohji/